

ふるさと じまん

わたしのお気に入り

山梨県 身延線



信仰と富士と温泉と 伝統文化の身延線

早乙女 修
— (平成8年卒) —

山梨県は関東圏・中部地方に位置する県で県庁所在地は甲府市です。

海に面していない内陸県で人口は約80万人と都道府県の中では下から7番目と少なく、面積も下から16番目と小規模な県です。しかし、山梨県には多彩な魅力や見所があります。

今回の「ふるさとじまん」はその山梨県を走るJR東海の身延線沿線を中心に山梨県の魅力を紹介していきます。



1 甲府駅 身延線駅名標

身延線は甲府駅と静岡県の富士駅の間を結ぶ約90キロメートルのローカル線で、全通したのは1928年、駅数は両端の駅を含めて39です。身延線の列車は甲府城とも呼ばれる舞鶴城の石垣がよく見える甲府駅の4、5番線から発車します。

では身延線の架空の普通列車に乗車し、静岡県の富士駅まで行きましょう。

■ 甲府駅の次は難読駅名の**金手(かねんて)**駅です。駅周辺はクランク状の道となっていて、それを表した「鍵の手」が訛って「かねんて」となったようです。ホームからは身延線と並行して走るJR中央線の車両も見ることが出来ます。

■ 2駅目の**善光寺駅**は甲斐善光寺の最寄り駅。武田信玄公が川中島の合戦の折、善光寺の焼失を恐れて永禄元年(1558年)に御本尊善光寺如来像をはじめ、諸仏寺宝類を奉遷し開基したのが始まりです。

ホームは築堤上にあり、春には桜が咲きます。東京方面に1キロほど歩くと中央本線の酒折駅があり、周辺は山梨学院大学、山梨学院高校などの学生で賑わっています。

2 善光寺駅の桜





3 南甲府駅

■ **南甲府駅**は身延線が私鉄の富士身延電気鉄道だった時代の本社がありました。駅舎はコンクリート2階建ての白亜の重厚な建物です。夜間はライトアップされ、また趣があります。

通常は2階には立ち入れませんが、2018年に身延線開業90周年記念イベントが行われたことがあります。鉄道ジオラマや特急ふじかわ号のヘッドマーク、行き先表示のサイドボード、古い駅舎の写真が展示されました。

近くに甲府地域医療センターがあり、山梨県支部の同窓会理事会が定期的に行われています。南甲府駅の近くに「湯村」という地名があります。名前に違わず駅南西には「ふじ温泉」や「湯王温泉」があります。

■ **甲斐住吉駅**は一応、小瀬スポーツ公園の最寄り駅です。小瀬スポーツ公園はサッカーJ2・ヴァンフォーレ甲府のホームスタジアムでもあるJITリサイクルインクスタジアム、山日YBS球場、テニス場、体育館、トレーニング場、水泳場、アイスアリーナ、クライミング場、バスケットボールコート、武道館などが揃っている県内スポーツの拠点になっています。

■ **小井川駅**の所在地は中央市。名前の通り山梨県のほぼ中央ですがJR中央線は中央市を通っていません。

駅から徒歩20分程の山梨県流通センターで歯科医師会の講習会や歯科器材の見本市が開かれることもあります。また、山梨大学医学部と医学部附属病院の最寄り駅でもあります。

■ **東花輪駅**は、中央市の代表駅で特急ふじかわ号も停車します。身延線はかつては民家風の駅舎が多かったのですが簡易的なものに建て替えられてしまった駅が多いです。しかしこの東花輪駅には昔ながらの駅舎が残されています。

■ **甲斐上野駅**は歌舞伎の初代・市川團十郎の出生の地です。駅舎には三枡があしらわれ、駅の近所には歌舞伎文化公園があります。

■ **市川本町駅**と**市川大門駅**は市川三郷町にあります。両駅は駅間距離が約900メートルと近いです。市川三郷町は紙漉きと花火の町です。毎年8月7日の神明（しんめい）の花火大会では、身延線に臨時列車も運行されます。

山梨県立市川高校は1991年のセンバツ野球大会で2試合連続逆転サヨナラ勝ちを果たすなどして準決勝に進出し「ミラクル市川」と称されました。その市川高校も増穂商業、峡南高校と統合され現在は青洲（せいしゅう）高校となっています。

四尾連湖（しびれこ）の最寄り駅でもあり、両駅からクルマで30分程の距離です。

また大塚地区で栽培される人参は「大塚人参」と称され、その長さが最大の特徴です。

■ **鰍沢口（かじかざわぐち）駅**は口が付いている通り、旧鰍沢町への入口にあります。

鰍沢は、かつては富士川の舟運で栄えた場所。その往時の賑わいはありませんが、この駅まで甲府から区間列車も運行されていて今も交通の要衝です。

駅から徒歩20分の大法師（おおほし）公園は桜の名所です。落語の演目「鰍沢」も鰍沢を舞台にした物語です。

■ **甲斐岩間駅** 特急停車駅。

駅の所在地である旧六郷町は印章の生産が盛んな町です。駅前広場にも判子の石碑があり、駅近くには印章資料館もあります。また温泉施設「つむぎの湯」に行くこともできます。

■ **甲斐常葉駅**

富士五湖の1つである本栖湖にこの駅から道が通じています。

■ **下部温泉駅** 特急停車駅、1991年に下部から改称。

駅名の通り下部温泉郷の下車駅となっています。無人化されていますが、開業当初からの駅舎が今も残されています。温泉地らしく駅前には足湯や観光案内所があり、看板には20軒以上の旅館やホテルの名前が記されています。

駅前食堂である「丸一食堂」では馬肉と鹿肉を使った「馬鹿（うましか）丼」を食べることができます。

また駅前の土産物屋さん「ニュー梅月」では名物の「かくし最中」や「身延線鉄道唱歌」のCDも購入することができます。

駅から5分ほど歩くと「甲斐黄金村・湯乃奥金山（きんざん）博物館」があります。湯之奥金山の採掘の様子、金山からの出土品などが展示されており、歴史を学ぶことができますし、砂金取り体験もすることができます。駅前の足湯も金山にちなんで「しもべ黄金の足湯」と名付けられています。

駅から踏切を渡った所にある下部ホテルには昭和36年にスキーで足を粉砕骨折した昭和の名優・石原裕次郎さんも湯治のため滞在しました。今も館内には「裕次郎ギャラリー」が残さ

れています。

長らく愛された下部温泉会館は令和5年1月末で閉館しましたが代わりに「しもべの湯」が新たにオープンしました。また早川町の奈良田温泉まで行く「早川町乗合バス」も出ています。

■身延駅

日蓮宗の総本山である身延山久遠寺の下車駅で駅舎も寺院風の建物です。

駅前から身延山で行く山梨交通の路線バスが出ています。山梨交通の路線バスの停留所の図案も他の地区は桃と葡萄ですが、身延地区は久遠寺本堂と五重の塔が描かれた身延仕様となっています。身延山バス停では三門が乗客を迎えてくれます。

三門から本堂までは菩提梯（ぼだいいてい）で結ばれています。菩提梯とは総数287の石段です。登り切れば涅槃に達する

という意味の菩提梯は、南無妙法蓮華經の7字になぞらえ、7区画に分けられています。一段一段の段差が割と大きく、傾斜も急なので結構な修行になります。本堂まで到達できれば涅槃に行けるのですが、仏の道は実に厳しいです。

本堂に到着すると、五重の塔と桜の木が眼に飛び込んできます。春には枝垂れ桜となり大変美しいです。

本堂から5分程歩くと、身延山ロープウェイの久遠寺駅があります。山頂の奥の院まで高低差763メートル。奥の院まで7分間の空中散歩です。

奥の院駅2階のレストラン身延庵で身延特産の湯葉料理などが食べられます。ロープウェイと下界を眺めながら食べるのは格別です。売店には苦しみと死を切るの意味が込められた串切り団子もあります。

身延は信仰の町であるのと共に身延高校や身延山高校もある学園都市でもあります。また身延駅から山梨の秘境と言われる早川町の西山温泉や奈良田温泉を訪ねることができます。その早川町は雨畑地区で作られる「雨畑硯」が特産です。この様に身延線沿線には多彩な伝統文化が息づいています。

僕が訪れた2022年の夏はテレビアニメやドラマにもなった「ゆるキャン△」のファンも多数訪れていました。身延町も積極的に駅舎にキャラクターを描いたりラッピングバスを走らせたりしています。



4 菩提梯
5 五重の塔
6 身延庵からの眺望
7 湯葉入りざるそば





8 身延駅の「ようこそ身延へ」横断幕



9 駅舎に描かれた「ゆるキャン△」の志摩リンと各務原なでしこ

身延線の旅は如何だったでしょうか？

ふるさととは言いながら私の生まれ育った塩山（えんざん）市（現甲州市）は峡東地域と呼ばれる県の東側にある為、普段身延線に乗る機会はありません。新鮮な旅気分を味わせてくれます。

日本三大急流の富士川の流れと富士山、信仰と温泉と伝統文化の路線・身延線。甲府から入るにしても富士から入るにしてもアクセスはしづらいと思います。東海道新幹線の新富士駅とも直接連絡していません。しかしそれだけに到達した時の喜びは大きいです。

山梨県全域に共通して自慢出来ることは夏暑くて冬寒いという極端な気候に耐えて生活しているこそその忍耐強さや郷土愛や人柄の温かさです。

同窓の先生方のお越しをいつでもお待ちしております。

■ **内船（うつぶな）駅**も特急停車駅で南部町の中心駅です。

コンクリート造りの2階建ての立派な駅舎ですが、売店は撤退してしまい駅舎の中はちょっとひっそりしています。

山梨もここまで南に来るとお茶の栽培が可能で南部茶が作られています。また筍や梅の産地でもあります。毎年8月15日には「南部の火祭り」が行われます。

駅から徒歩3分の所に「森の中の温泉・なんぶの湯」があります。

■ **入山瀬（いりやませ）駅**前には静態保存されているSLがあり、鉄道関連書籍などが充実している図書館・SL文庫も併設されています。この辺りは、富士駅と富士宮駅を結ぶ区間列車が多く運行されていて山梨の区間とは違った表情を見せてくれる身延線です。

■ 終点である**富士駅**のある富士市は製紙産業で栄える街です。特急ふじかわ号はここでスイッチバックし静岡駅まで足を延ばします。

■ **十島（としま）駅**は山梨県最南端の駅、この駅も春になると桜を見ることができます。

駅から徒歩約40分の所に佐野川温泉があります。

■ 富士山の登山口でもある**富士宮駅**は大石寺の最寄り駅で団体専用ホームもあります。

10 富士駅 東海道線駅名標 11 特急ふじかわ号 12 富士宮駅の富士山

